

平成22年度 学校関係者評価

評価者 学校評議員5名

◎ 学校教育目標
国際社会の有意な形成者を目指し、若さにあふれ、実践力に富む人間を育成する。 ・能力、適性の啓発に努める。 ・学力の向上に努める。 ・自主性・自律性の育成に努める。 ・豊かな情操の涵養に努める。
◎ 本年度の重点目標
・基礎学力の向上 ・社会規範の確立 ・自己進路の実現 ・安全意識の高揚 ・地域との連携

◎ 自己評価結果					◎ 評価者評価結果			
評価項目	取組状況・結果	達成状況	取組の適切さ	改善方策	自己評価結果の適切さ	取組の適切さ	改善方策の適切さ	
教育目標	教育目標・重点目標の理解度及び実践	目標を理解し実践している教員も多いが、意識の低い教員もいる。単位制初年度であるだけに残念である。	B	B	生徒は毎年変わっているのだから日々新たな気持ちで仕事に当たることが大切。単位制へ移行中なだけに全教員が目標を見据えた上で教育活動の実践を図る。	A	B	B
教育課程	教育課程及びシラバスの活用	教員数、施設を考えたならばベストに近いものなのかも知れない。4割弱の教員がシラバスの有効利用が出来ていない。	B	B	単位制に移行中なので、生徒・保護者・地域の理解を得られるような編成を図る。シラバスの有効利用と更なる内容の充実を図る。	B	B	B
学習指導	学力向上のための分かる授業等の工夫	生徒による教員評価が行われるようになり、教員側の意識も高まりつつあるが、生徒の思いとの間には若干のずれがある。	B	A	授業参観週間や生徒の授業評価等を参考に、積極的に分かる授業の工夫や実践を図る。	B	B	A
評価者の意見	教員の自己評価を高める努力が必要。それにより、生徒からの評価も更に高まるはず。もう少し具体的な改善の方策を示してもらえば理解しやすい。							
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	他校に比べたら厳しい生徒指導とはいえない。生徒も厳しいと感じていない。	A	B	地域が期待する南高の生徒を育てるために、保護者や地域の協力を得ながら指導の充実を図る。	B	B	B
評価者の意見	他校と比べ服装等はよく指導されていると思う。一部生徒に校内やバス内でマナーの悪い者がいると聞くが、先生方には毅然とした態度で対応して欲しい。時と場合によっては、厳しい指導も必要だ。							
進路指導	生徒の進路実現	進路実現に対する教員側の意識は高いが、学年、担副によって意識にずれがある部分はある。進学講習や進路オリエンテーション等は適切に行われている。	B	A	単位制の完成に向けて、三年間を見通した系統的・継続的な指導の充実を図る。有用な資料・情報を取捨選択し、適切に提供する。オンデマンドシステムの有効利用について、更なる充実を図る。	B	A	A
評価者の意見	指導は適切に行われていると思う。オンデマンドシステム導入の効果に期待したい。単位制導入に期待する。							
保健安全	安全意識の高揚	生徒の怪我や病気等に対する対応は円滑に行われていた。しかし、防災や危機管理について配慮する意識は薄い。	B	B	危機管理については、避難訓練等を通して意識を高め、不測の事態に備える。	B	B	B
評価者の意見	規則正しい生活の指導強化と、意識向上のため繰り返しの訓練が必要。避難訓練時の生徒の態度は高く評価している。出来れば学校外(家庭を含め)での防災指導もして欲しい。							
地域との連携	地域との連携	教員側は、ほぼ連携が為されていると回答しているが、それは保護者との間で連絡が取れているだけであって、地域との連携とはいえない。PTA活動にも積極的に参加しているとはいえない。	C	C	単位制2年目に向けて、生徒・保護者・地域のニーズに今まで以上に応えるような学校作りを目指し、学校便り及びHPを活用し情報の公開等を図る。	B	B	A
評価者の意見	学校独自の取組を、市内外にアピールし、広域的な連携を図ること。保護者との連携を、更に進めて欲しい。							